

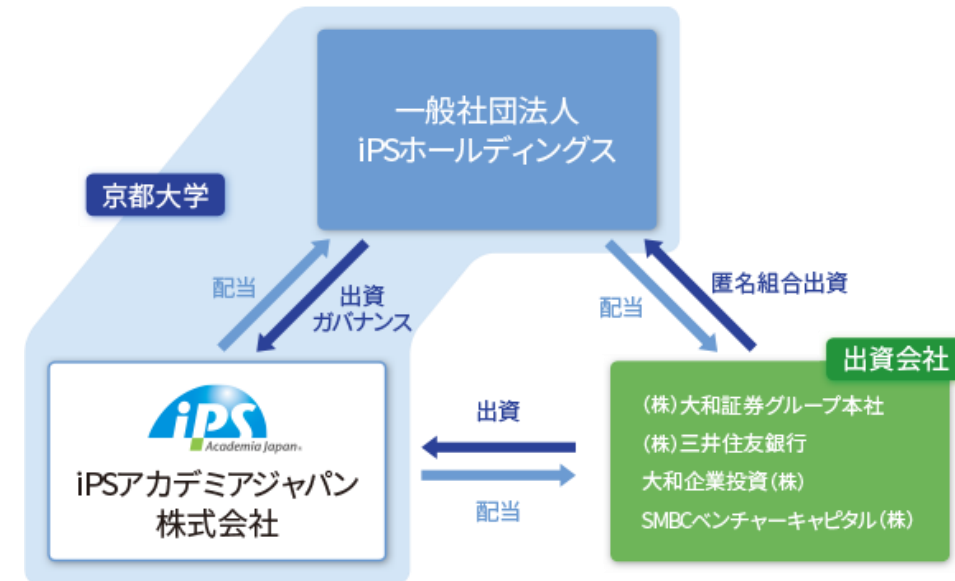
iPSアカデミアジャパン株式会社 ご紹介 ～大学特許の活用～

2019年5月28日

iPSアカデミアジャパン株式会社

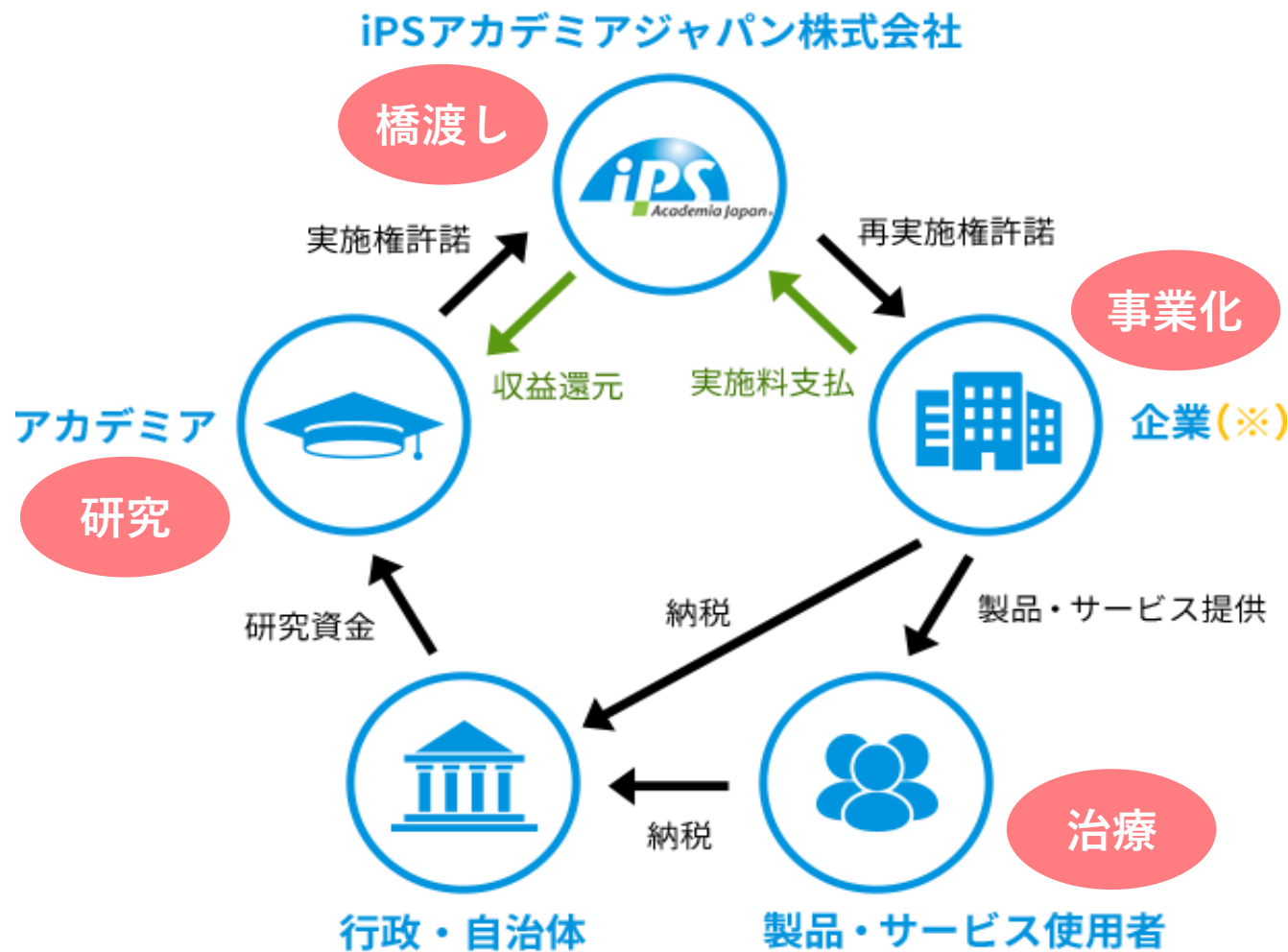
会社概要

会社名	iPSアカデミアジャパン株式会社
設立	2008年6月25日
所在地	京都大学国際科学イノベーション棟 東館207
資本金	100 百万円
代表取締役社長	白橋 光臣
承認TLO	2016年（平成28年）1月22日 承認TLO
社員数	10名
科学顧問	山中 伸弥（京都大学iPS細胞研究所 所長）
主な業務	<ul style="list-style-type: none">・ iPS細胞等にかかる特許発明の実施許諾事業・ iPS細胞関連技術の知財化支援・ iPS細胞関連特許情報の提供・ 研究助成事業



ミッション

iPS細胞に関する研究成果を、迅速に、着実に人類のために社会に還元することにより、人類の健康と福祉に貢献する



※企業例

医薬品／医療機器／試薬／
研究機器／食品／化粧品／
化学／素材／受託サービス／
バイオベンチャー... etc.

弊社の7つの特徴

iPS細胞周辺技術に特化	iPS細胞等多能性幹細胞初期化法、分化誘導法、培養法、分離・精製法、遺伝子改変法、製剤方法などに関する発明。導入特許総数約170ファミリー（延件数約590件）
オールジャパン体制	京都大学（CiRA）に加え、他大学、研究機関で生まれた研究成果（特許）も取り扱う。
豊富な実績と経験	国内企業： 112社 海外企業： 89社 （2019年4月現在）
高いブランド力	iPS細胞周辺技術を取り扱うTLOとして継続的なマーケティング活動を通じて国内外で周知
標準的なライセンス条件を公表	適正かつ公正な経済条件を適用（社内SOPを制定）
健全な財務基盤	継続的な黒字基調
社会貢献活動	研究助成事業・特許補助金制度

iPS細胞等周辺技術に特化した広域型TLO

実績 - ライセンスイン -

特許導入元

15

大阪大学
関西学院大学
岐阜大学
京都大学
京都府立医科大学
神戸大学
産業技術総合研究所
JBiC

東京女子医科大学
名古屋市立大学
日本大学
量子科学技術研究開発機構
Auckland UniServices Limited
Accellta
Accelerate Technologies Pte Ltd

特許ファミリー数

約 170

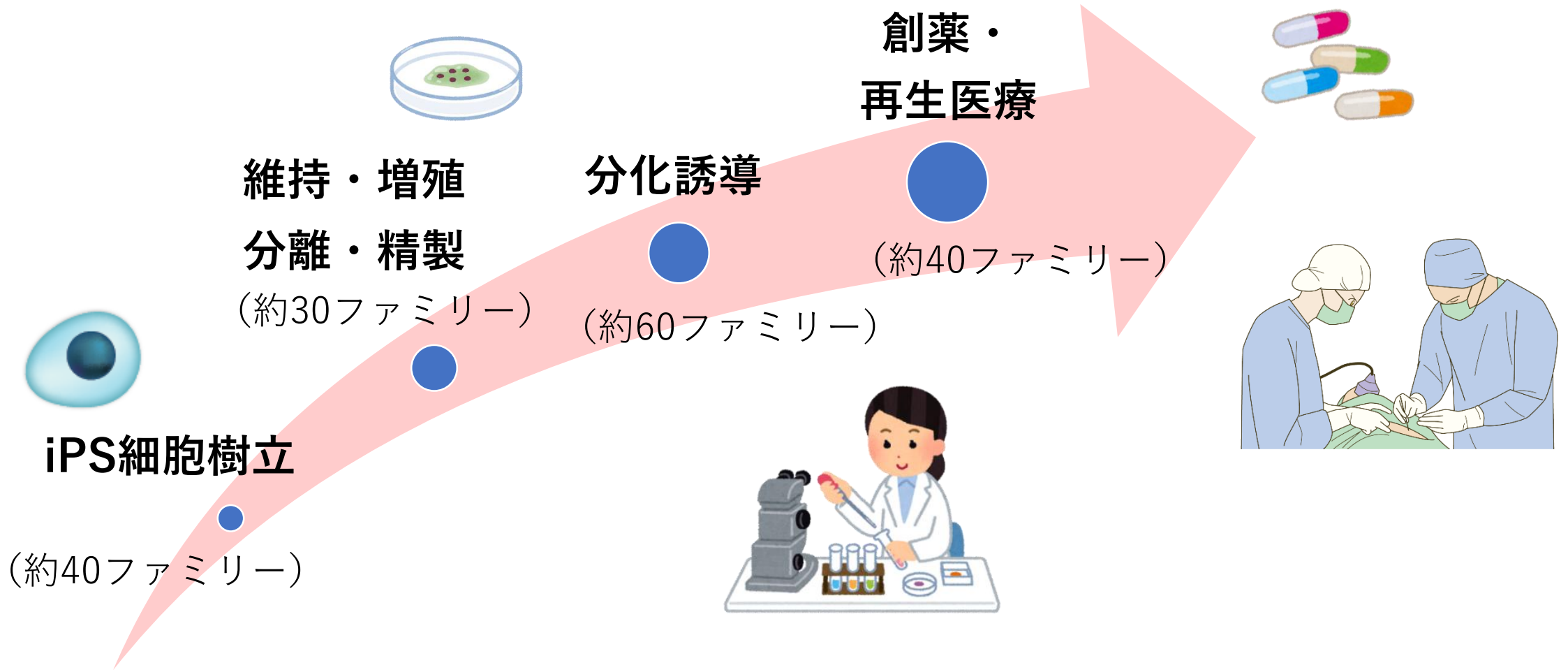
特許出願件数

約 590

権利化件数

約 310

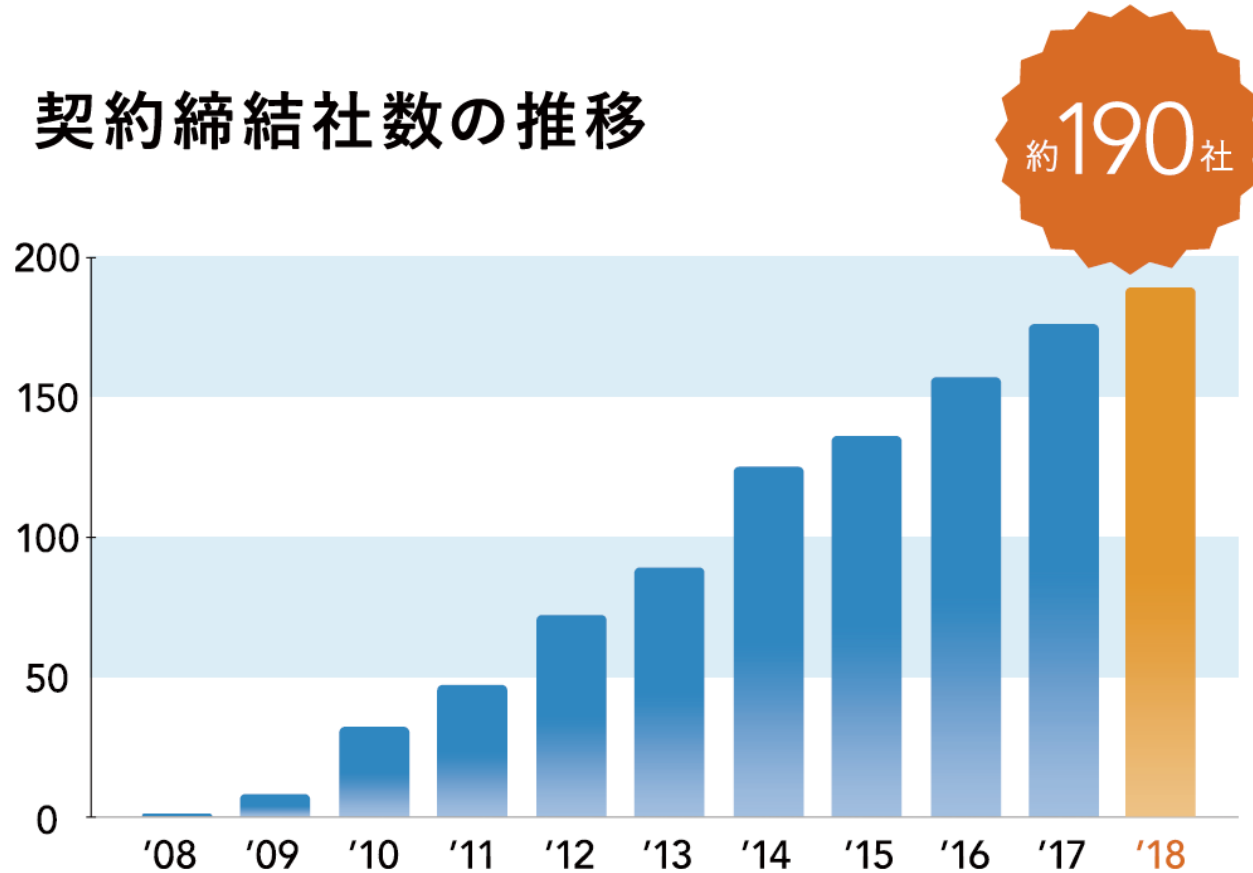
幅広い技術分野をカバーした特許ポートフォリオ



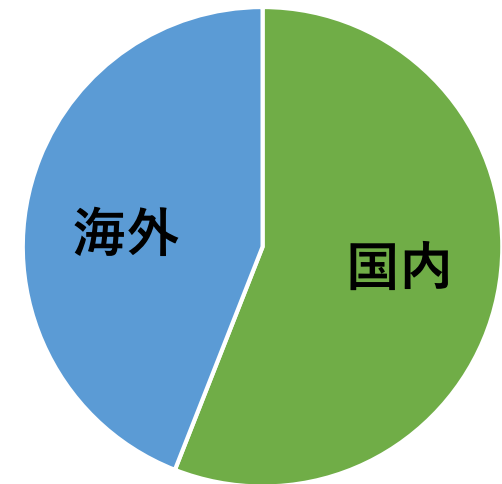
分化誘導、創薬・再生医療の関連技術が近年増加傾向

実績 - ライセンスアウト -

契約締結社数の推移



国内企業・海外企業比率 (2018年度)



日本
112

北米
49

欧州
35

アジア
5

(2019年4月現在)

ライセンスポリシー

総合科学技術会議による「大学等における政府資金を原資とする研究開発から生じた知的財産権についての研究ライセンスに関する指針（2006年5月23日）」、及び「ライフサイエンス分野におけるリサーチツール特許の使用の円滑化に関する指針（2007年3月1日）」の趣旨に沿って、iPS細胞研究の成果である知的財産を広くライセンスします。

1. 非営利機関は、非商業目的（学術研究または教育目的等）で実施する場合に限り知的財産を無償で利用することができます。（特許ライセンスは許諾しておりません。また、非営利機関がiPS細胞（iPS細胞から分化誘導した分化細胞等を含む）を営利機関へ配布する場合には、事前の当社同意が必要です。）
2. 営利機関に対しては、原則として非独占的ライセンスを許諾しますが、適正かつ合理的な対価（有償）を設定します。なお、iPS細胞応用に係る知的財産については、一定の条件を満たす場合、例外的に独占的ライセンスを設定することがあります。

特許補助金制度

iPS アカデミアジャパン株式会社

特許補助金制度



- 【目的】 アカデミアで生まれたiPS細胞等多能性幹細胞関連技術に関する研究成果の知財化促進と技術の普及
- 【概要】 特許の権利化までに必要な外部費用を補助
- 【補助金額】 1件当たり最大200万円
- 【採択件数】 本年度最大5件
- 【採択者の義務】 弊社との再実施権付非独占的通常実施権許諾契約
 - ・ 弊社がライセンス契約を締結 ⇒ 実施料の40%
 - ・ 大学等がライセンス契約を締結 ⇒ 実施料の5%
- 【採択実績】 日本大学、関西学院大学

iPSアカデミアジャパン研究助成

iPS Academia Japan Grant

iPSアカデミアジャパン

研究助成

iPS アカデミアジャパン株式会社は、設立10周年記念事業として、

2018年度より新たに研究助成事業を創設し、iPS細胞分野の発展に貢献すると共に

若手研究者の創造的な研究を支援します。

2018年度募集要項 概要

target
対象
研究
research

iPS細胞分野における
国内での基礎研究及び応用研究

grant
助成
金額
amount

200万円/件

application
応募
資格
qualification

- 国内の大学又は公的研究機関に所属し対象研究に従事している者
- 40歳未満(1978年4月2日以降に出生した者)

2019年度募集

2019年7月頃、募集要項等
詳細を弊社HPにて掲載予定

お問い合わせ

iPSアカデミアジャパン(株)
研究助成事務局

josei@ips-ac.co.jp

2018年度採択者(五十音順、敬称略)

上田 香織

神戸大学大学院医学研究科 外科学系講座眼科学分野
特定助教

「疾患iPS細胞を用いたレーベル遺伝性視神経症の病態研究」

嶋田 逸誠

名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生化学分野
講師

「多機能的転写因子によるミニブレイン神経幹細胞の
運命決定制御機構の解析」

杉村 竜一

京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門
特定研究員

「臓器連関再構成organ-on-a-chipデバイスとiPS細胞技術の
相互作用による血液発生機構の解明」

林 洋平

理化学研究所 バイオリソース研究センター
iPS細胞高次特性解析開発チーム チームリーダー

「転写因子-DNA複合体の構造解析に基づいた次世代人工
リプログラミング因子の開発」

前 伸一

京都大学 iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門
特定拠点助教

「ヒトiPS細胞由来尿管芽の再生によるin vitro腎嚢胞
モデルの開発」

弊社からのご提案

1. iPS細胞を含む多能性幹細胞分野に特化した発明の実用化を支援
2. 弊社から専門家を派遣し、以下の一貫したサービスを無償で提供
 - (1) 大学に埋もれた有望な発明の発掘・評価・選定
 - (2) 出願・権利化
 - (3) 企業への特許ライセンス
3. 特許パッケージ化による発明価値の向上（基本特許とのパッケージ）
4. 弊社が保有するユーザーリストや専門分野に絞られた情報網を利活用した特許情報の配信／市場開拓（効率的なマーケティング活動）
5. 特許権者である大学もライセンス活動に参加（複数マーケティング）
6. 特許補助金制度の下、200万円を限度に経済的支援（経費節減）

参考例

